

【様式例②】
(施設所管課記入様式)

大東市立市民会館 内部評価結果 (施設所管課による評価)

【評価対象施設】大東市立市民会館

【指定管理者名】太平ビルサービス大阪株式会社

【評価対象年度】令和4年度

【施設所管課名】市民生活部 市民政策課

業務内容について評価

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響による休館や開館時間の短縮などの規制がなく、コロナ禍以前の状態に戻りつつある一年でした。

年度当初に予定していた自主事業についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で2件は中止となりましたが、合計で10件実施できたことは評価に値します。特に映画観賞会については予約開始後に申込が集中し完売になるなど、市民から好評を得ていますので、今後も市民が市民会館に足を運びたいような事業を開催することを期待します。

コロナ禍のため、利用者が安心して施設を利用できるよう、会議室の定員減、清掃・消毒の徹底、利用時の換気、来館者への検温・マスクの着用・手指の消毒の協力依頼、抗菌・抗ウイルステープの設置などを昨年度より引き続き実施しています。また、キラリエホール2のプロジェクターの映像精度向上、4階大会議室とキラリエホール2の映像音響方式をRGB方式からHDMI方式へ変更する工事を実施するなど、市民の利便性向上に大きく貢献したことを評価します。

利用者満足度について評価

市民会館の印象について、令和5年2月20日から令和5年3月31日にかけて実施されたアンケート結果では、「満足」「やや満足」「普通」が多く、利用者には大きな問題がなく利用いただいています。前年度のアンケート調査では「やや不満」「不満」の回答がありましたが、今年度は「不満」の回答はなく、「やや不満」の回答が若干ありました。今後も引き続き利用者の満足度を向上できるよう、利用者が市民会館に何を求めているかを把握し、改善に努めてください。

収支状況について評価

令和5年3月までの利用収入が38,982千円、令和4年3月までの利用収入が30,763千円で、前年比8,219千円（約26.7%）増となっています。新型コロナウイルス感染症の影響によるイベントの自粛傾向が緩和されて、人の集まりが戻りつつあります。Wi-Fi環境を活用した新たな事業展開や新規の利用者獲得に向けての運営を期待します。

総合評価

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休館や開館時間短縮措置がなく、利用者もコロナ禍以前のように集まりが再開している状況で、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、「安全・安心」に利用できる会議室・ホールを継続して提供していることは、高く評価します。

令和5年度からは、以前より市民会館を利用されていた方に継続して満足いただけてだけでなく、新規の利用者を開拓できるよう、市民会館の意義・優位性を広く周知し、市民会館の価値を高めてください。

新型コロナウイルス感染症が完全に収束したわけではありませんが、会議室の利用は増えていくと思います。今後、利用者が市民会館に何を求めているのか把握し、常に改善の意識を持ち、新たな手法を模索してください。